

中学受験で悩む お母さんサポート セミナー&交流会



第8回 入試前後にできること(1)

【年間プログラム】

回	月・日 (曜)	場所	タイトル
1	5/17 (火)	第一会議室	子どもが伸びる聴き方・ほめ方・叱り方 (1) (2)
2	※6/21 (火)	視聴覚室	
3	7/12 (火)	視聴覚室	コミュニケーションのタイプを知ろう
4	9/13 (火)	視聴覚室	自信を育むかけたい言葉・子どものミカタ (1) (2)
5	10/11 (火)	第一会議室	
6	11/8 (火)	第一会議室	子どもが自発的に行動する任せ方・手放 し方 (1) (2)
7	12/13 (火)	第一会議室	
8	1/17 (火)	第一会議室	入試前後にできること (1) (2)
9	2/14 (火)	第一会議室	

時間：5,7～2月：10時～12時（受付9時30分～）。

※ 6月：13時30分～15時30分（受付13時～）

【主催】あさお共育プロジェクト・川崎市教育委員会

連絡先：麻生市民館社会教育振興係：044-951-1300

スタッフ e-mail：asaedu@gmail.com

資料等：ブログ <http://mikata.blog.shinobi.jp/>（←過去の資料はこちらから）

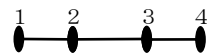
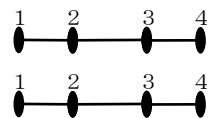
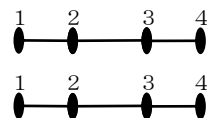
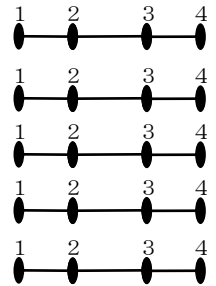
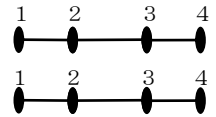
1. 入試前の過ごし方

◆ 現状を確認してみましょう

右側の数字に○をつけてみてください。

1. お子さんとの信頼関係は良好ですか？
2. 受験校について子どもや家族と意思疎通が図れていますか？
3. お子さんはやるべきことが定まっていますか？
4. お子さんは朝型でリズム良く生活していますか？
5. お子さんの体調は良好ですか？
6. お子さんは言い訳や責任転嫁が多くなっていませんか？
7. お子さんの感情は安定していますか？
8. お母さんは不安やストレスを適度に解消していますか？
9. 軸（どんな受験にしたいか、どんな関係でいたい）が明確になっていますか？
10. お子さんの話をじっくり聞いていますか？
11. お子さんのあらさがしではなく、長所や強みに意識を向けていますか？
12. 入試までどんなサポートをするか明確になっていますか？

良好 ← → 悪い



現状を確認してどんなことを感じ、考えていますか？

◆ 受験直前の1月、あなたは試験日までどんなサポートをしますか？

1～5年生の保護者も、6年生だったとして考えてみましょう。

(例) インフルエンザ予防、出願

◆ 1月の過ごし方

- 子どもの浮き沈みが激しい時期。家庭が安全基地であることが大事。
- 1月は今までの3ヶ月分の勉強ができる
- 人事を尽くして天命を待つ
- あれもこれもやろうとすると消化不良を起こす ⇒ 例) 問1・2対策等
- 強引にやらせるのも一つの手 (親の受験になること承知で)
- 心配のしすぎは逆効果。心配・不安は感染する
(健康、睡眠、朝型、予想問題、持ち物)
- 起床時間は入試時間をふまえて
- 学校を休ませるか？休ませるなら何日前からか？
- 子どもの個性に合ったやり方で。(自分のやり方を押しつけない)
- 受験校、志望順位の意思疎通。
 - ◇ 第2プラン、第3プラン。
 - ◇ 父親の強気プラン、子供の弱気プラン、母親のわらにもすがるプラン
- 親の気持ち重視 VS 子どもの将来重視

2. 入試期間中の過ごし方

◆ 入試期間中、あなたはどんなサポートをしますか？

1～5年生の保護者も、6年生だったとして考えてみましょう。

(例) 送り迎え、入学手続き

◆ 入試期間中の注意点 と準備あれこれ

- 友達と一緒に入試会場に行くのは避ける
- 試験開始時間のどのくらい前を目指して出発するか？
- 食糧は買いこんでおくと楽
 - ◇ 子どもを一人で家にいさせるのも不安、ということもある
- やはりここでも、家庭は安全基地！
- 第二第三プランの対応
 - ◇ 最高を望み、最悪を想定する
- 最後までやり抜く！

メモ：

3. 入試後の過ごし方

◆ 中学受験を成功体験にするために

入試が終わると、入学手続きから始まり、卒業準備、入学準備と忙しくなります。それでも「中学受験をやって良かった」と思えるように、最後の締めくくりとして子どもと、家族と、自分と向き合ってみましょう。

- どんな結果でも受け止め、子どもを承認する心の準備は整っていますか？
- 中学受験が良い経験だったと思えるよう、どんなサポートをしますか？
- 素敵な中学生生活をスタートきるために、どんなことを話し合いますか？
- 今後、どんなお母さんでいたいですか？
- お母さんご自身が、今後どのようなことに取り組んでいきたいですか？



中学受験にチャレンジしたこと自体が成功体験！

中受マラソンに完走した子どもも親もあっぱれ！完走賞！

チャレンジし、やり抜くことで得られた大きな成長！

そして、道中生まれた様々なドラマ！生きている証！最高！

《次回予告》

今年度を締めくくる最後の中学受験セミナー&交流会ですので、お疲れ様会にしたいと思っています。お互いの一年間の頑張りを讃え合い、成長を実感するプログラムを予定しています。5年生以下のお母さんにとっては6年生のお母さんの生の体験談を聞ける(?)貴重な機会です。

6年生のお母さんにとっては、新たなスタートを切る上で役立つプログラムを準備しています。ご参加お待ちしております。